

コロナ禍を乗り越えるために、PCR検査の抜本的拡充等を  
求めることについての陳情

日頃の区民のためのご尽力に敬意を表します。

都内の新型コロナウイルス感染拡大が深刻です。台東区も家庭内感染により、この間、小・中学校、保育園ほか、児童施設の感染者が広がっています。

区内の老人ホームに入所している人は、6か月間全く外出できないため、要介護になるリスクもあります。また、リハビリに行くのにバスに乗るのが不安な人は、筋力の低下のリスク、感染を恐れて受診を控える人もいて病状が悪化する可能性もあり、一人暮らしの人はコロナ鬱になるリスクもあります。働く人は感染を持ち込まないため、通勤以外の他の場所への移動を制限されたりしています。区内で感染者が増えているので、公園に行くにも外遊びは工夫して切り上げましょうと、幼稚園で言われる人などがいます。私たちに情報が伝わっていないことや検査が遅いため、不安はぬぐえません。

感染状況についての情報公開が不十分なため、逆に、不安が差別や分断を生じさせる可能性があります。情報公開がされ、医療、介護、保育、学校、施設などの職員、施設利用者、子どもなどへ定期検査を行い、さらに、希望する人誰もが、いつでも無料で受けられる大規模なPCR検査体制へと、抜本的に拡充することが必要です。

そうすることで、不安が軽減され、施設での外出も子どもの外遊びも広がります。感染拡大を防止するため、PCR検査を広く行い、無症状の感染者を見つけ出し、保護・隔離させることが大切と考えます。

台東区には高齢者が多く、不安を抱えながら生活している人も多く、広く検査を受けられ、情報公開がされれば、みんなが正確な情報のもとで行動できます。

都内の世田谷区や墨田区では、先進的な動きがあります。台東区でも区独自の対策を立ててください。

以上のようなことで下記、陳情致します。

陳情要旨

- 1、医療、介護、保育、学校等の職員や施設利用者、子どもなどに対して定期的にPCR検査を実施するとともに、PCR検査を希望する人に対して、いつでも何回でも無料で検査ができる体制を作ってください。
- 2、感染拡大を防止するために、区民が冷静な判断と適切な行動ができるよう、もっと情報を公開してください。

令和2年8月31日

台東区議会議長

石 塚 猛 殿